



園部共同作業所 ニュース

園部共同作業所発行
〒622-0011
京都府船井郡園部町上木崎町
入道32
電話 0771-62-3249
FAX 0771-63-2941

NO. 59

肝心「ほどほど」が

いに肉をある代体 化用残を基らきた殊花入ねうがすちし保年のせ本花る じものしさ更毎花飛
うかに遠るは償を花にが念間にと止こな粉間たで増るよた有前研んに粉ほ今で絶ダまかに日粉散今
こかもざとめと無粉は見な発し、めと物症の結す加かう時率の究では症どですえブいら、が症量年
とつ別け言にし菌症至つがして彼まを質を体果。しのど期が日にしほは患は 絶ル、風寒続のがの
でてのよえなて化とつからた花はしそを防内、更出よそに急本よたと、者国 えバ花邪暖い私異春
す。し厄うまつ、にはてり重の粉そたの分ぐで宿にしうれ一に入る。ん実さ民 トン粉まのてに常は、
ま介とすた引近、いま篤で症の「学泌よ寄主研たにに致減のとあどはん病 いチ症で差いはに、
つなし。病きづ人まだなす治物そ者しう生で究の花反し少寄、るあ昔がと つでと引のま苦多花
た病て病気受けがん 実副が療質はてな虫あをだ粉比てし生数学りの多言 た、風い激すしく粉
と氣皮氣でける身。用作、薬をな突い特がる重そ症例、出虫十者ま日いえ 感息邪てし、い、の



ういはとどいもす下來づま私て及抗の毒抗しとしと当
かる我いほけ良。すのけりにいな菌過事生た続か考な
の々うどれい清る免過身はるどグ剩故物無くしえ國
でに教、どこ潔と疫ぎ体思のはツなに質菌、る家
は伝訓がもと、言力るをわで少ズ対際の化日そべ施
なえを肝、何にやわはと無ればしの応し使追本の後
いて、心事は無れ確、菌まな度開、て用求人後
でく花なも違菌て実人化すいが発様の、安のも
しれ粉の「い化いに間に、か過と々政食易徹延
よて症だほな」ま低本近あとぎ普な府中な底々。た妥から虫

芝伸太郎

驗て巴村た出応の町かの 依く如迄が功えい御 めすスを計長るへ々のとが業 てとかみと状い
の、相副、席援健のら悪そ頼か何の、さた杉指幸てよム補画のこのの一に園と今い氣らがに態に家
中杉談会加をを康闇もいのし、に広何せ喜原導いきう、佐の熱と理參員な部し回る配願前、が当族
か原員長えみ戴推係多中甲要各多範分たび先戴にた。にズし中心を解集とりでて京今りい進更続事会員
ら先の、てるき進職くに斐請支く囲龜いに生い以 とに、でな願とをしま開講都日のたすにい者
持生協保京こ五員員のもあし部のに岡思、をた前
ちの力健家と〇ささ参違つた長参亘かい何講馴保
時永も所連が余ん加くてさ加るらでと師染健
聞いあのので名等、と美天んを中美しかにみ所
を経つ西中きの心各山候 に戴で山た成迎深で

てとかみと状い
めすスを計長るへ々のとが業 てとかみと状い
き後とおぼ方員保、れ者身切での思充、しつえ
たのを程と々さ健各たもなな田あい実家みてて
つい活痛遠ののん所町でそア対中つをし族て数の
ぼも動感い願賛等にのあれド応、た新て会、多講演
みにし存い同地依社ろぞバ、松。た参の本い会
で生、在もを域頼協うれイ西田又にら活人助に
会す。か心で、得のしを、にス巴両、しね動へ言私
垣村 ししあなら多民通し満に氏氏相たば等の、達
進まが長の会ま者方員こ会事 過努をのるしお互
ぎ力心歩こた互

**省講
みて
と相談会を**

船匿 園部
家井名義
族郡様
精神障
障害者
寄付金
園部町台風二十二号

置匿城寺 精
名島井園神
様幹重部障
夫雄支害
米み様部者
かん葉葉族
子葉葉会
子子子子子
寄贈品
三(平
十成
一現
日十七
現在)
年三月

い今こなれの委又しさ加親適員日に応にと超
き後とおぼ方員保、れ者身切での思充、しつえ
たのを程と々さ健各たもなな田あい実家みてて
つい活痛遠ののん所町でそア対中つをし族て数の
ぼも動感い願賛等にのあれド応、た新て会、多講演
みにし存い同地依社ろぞバ、松。た参の本い会
で生、在もを域頼協うれイ西田又にら活人助に
会す。か心で、得のしを、にス巴両、しね動へ言私
垣村 ししあなら多民通し満に氏氏相たば等の、達
進まが長の会ま者方員こ会事 過努をのるしお互
ぎ力心歩こた互



まトホてナ戸みク三し口た
しウテ園ミ田まラ寺た島、階十た
た・ル部海、しのを。の昼で五
ハのに道來たタみチ水食バ日
チテ着、島、オマヨ軍をイ帰
以ロレき福大生ルしウ丸広キリ
花田 穆彦
以上
見サ

見サ

ま瀬をサ耕ま生しに

しの八宝がし伊夏道ん転車か でしに、
した間時荘あた藤目後で手道ら十した園火
でにホリ。博漱温しさを瀬四た。部
カニテま靈文石泉たん通戸日 参大の(月)
ラ階ルしののや本。はり大行
オのでた湯愛正館泊桂ま橋き
ケにし、とし岡湯は幸し中し
タギた鷺神た子治愛太た央は
食た。谷の湯規で媛郎。自岡
でつ十の湯でや、県さ運動山
名ま分

道後一泊旅行

の名現原人薬うしのよのをじか午りしたがこががうねよ御庭ほ二はちそにな何ら先名うらないはを
先人在因にも「たでう分買様つ後だての驚り昨過しつう同でと種へらそしのとの生人か充るやつ仲
生がYはも変がと。何こすにをいにたかし、でくま年ぎよてと様のん類へかくてでか出」が分ほな学けるニ
「名君分家わ起、ガとにコのら、仲すほし、まうはい、様どぐ」が分ほな学けるニ
の付のか族つ、「いソリ行ンにの更間、どた突しも來ろ何子誠ら」と正り籍状所とえにど、と言
イけ容りにて、「つバもきビ皆作にやそ倍。然たなまいとを黙い、イ話御午ま出況をが。」
メたはせ理いのでいテす今へなを絶員とし勤異と十た頭改ね態事返エか宅な。るいめのさ囲姿みY
ジ学前、「以ん由かだどいかま弁とし対に平て日がこ二がを善てで、のにこば業度ばかYががか。た君ム
か校、本、ろうるので当同なに喋行き数起ろ年どひしも家

なんだろう

「まての好とたしとつら
なすほ調、もこ肥余てほ
んがし子作かと満裕いほ
所で、いを業くがにのます。
長だそとキも人心なあす。遠
ろれ願意間配つるい
杉うにつづ欲関でて顔ふも
山俊してし的係すしにつけ
ておて、もがまくに
夫もりいこ良。つ少らな

わる六一めがり五た貝頃
れん〇をてよ返年のさ、あ
まやgし来みれがはん日れ
しとまたがば立、に吉は
た永でし時え色ちあ連町寒
井ぐたシリ々まれれ保い
永さら。ユまなしから健冬
井んいgレす思たられ師の
さに入数ツ。い。早ての二
ん言ればダ初出振やき塩月

とこ
ごろ
もやつ

ははるい過でん生前うるも事てだ事そめかいい作作當てと日シツシ私るじくんリののじかいうは思人と
三精。しげしだ活のや。そ、スつにれてら傾状業業にす。中ユたユは事くらとアでか小のと小私うと言
下神も病てたとはよく一のそテた感としの向態所所うる一立レ。レ入はらい久だと柄人言粒とけこわ
り病ち氣もあ、当う思・課れツ。謝家ま評がだににら久枚ツはツつ言い今江つる想でなうでちれなれ
半でろも子る入たにつ二題は普作で族う価出つな來や江「てダつダたうのおちて。うもの感びがどいて
をあんか供女院り一た年は五ア業きを事」る。たじてまち一「一き」時まで籍れんまつ、うあのりて井はツ
つるこかが性を前日。過一年ツ所な持だをす。めいしや枚くも前言苦本なも数たとのたちもるなと山さいト
つ彼病てき二病なぎたてでつす入状そたぐ。いが入くにつ手当い。かれにら同堀キが違。かかしんくる
け女氣いな年院いるりよあてるつ態の。求A悪なら。本れ一てだに。な同じさヤうう同ならよととる

頃た切一とううそ事のな日葉下れ好思る自程うは言も見でつががんま言てつくれ六枚まお性られ
でいに日日。「のな事ん忙も手ときうと分。うそれもぎ、まなしう来」はる〇のよこのれ
あとしみが又あ行のがだしあの言こ繼言のみ健不ののな木た心し事いのた先なよgビうう話た
る思てじ過年り為か、どろくる横うそ続う仕なえ康器も未いのいのいを、もも輩くう、ニや。はの
うすんぎはがをれうい。好言もは事事い、で用い熟末上とバか書四本の達とに六一く今片だと言
今ごなる一た行れけ思たのとものな大好がれいおがならうんしの五に、大一つgのなかう。い
日しりが年さえは、てに一、だる毎大うい中いあ上り切きあばいし自人立。をれは年お自切つた入中ら。
こいも日二とと日切、なでうばれ手とだにあとい分間つ家受なおでこ分に。れに一いて女
のき大、年思い、なこん毎言、な、とな。る思私でて庭けいここがでし。早ら一いて女

吉田
知子

レクレーション

三	二	二	一
と一月成ニサリ月	際バス石表ニス月	ガク月	知ボ合年月
し泊十績十ソン九ル交ザテ田会ア音ニレ	二レ	一十八	山度十
ま旅四でチケグ日に流ソ哲さん	リル(京家連主催)	日	サリ義N四
な行日しソイ大	ク楽十ア	合唱コン	ン援H日
みたムボ会京	ラ研日	ボ会分未成	ケグ金K
海道十中一福連	ス研	一新助十	イ大配歳平
道後五四ル福連	コス園	ノジヴ	ル福春け六
の温日位に知ボ	ラス	ア	
旅泉	モ部	ノ	
	ホ国品	イ	



いるをが法イーもシが春らしく
も制よ案改う少シヤやつてなつて
の度く傷一障害者抱きました花
でに知害は連発の皆さま。粉
す。しつ当審議者自立ドです。ま
て事議者自立得のれ立得です。ま
ら得のれ立得です。ま
いで実ま支デす。ま
たき情す援ザ

編集後記